

取扱説明書

この度はセイコークロマティックチューナーSAT1200をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の際は本説明書をよくお読みいただき、正しい使い方でご愛用下さいますようお願いいたします。

お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産の損害を未然に防止するための重要な内容です。



禁止の行為です。



強制の行為です。

— 以下の指示を必ず守ってください。 —

警告

この内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷の恐れがあります。



本機や電池を分解、修理、改造しない。



濡れた手で触らない。



雨などの水滴のかかる場所や水気のある場所（風呂場、洗面台など）で使用や保管をしない。



電池を火の中に入れない。
指定の電池以外を使用しない。
針金などの異物を入れない。
不安定な所に置かない。
本機を故意に投げない、落とさない。
温度が極端に高い所（暖房機器の近く、発熱する機器の上、直射日光の当たる所、自動車内など）で使用や保管をしない。
湿度が極端に高い所で使用や保管をしない。



乳幼児の取り扱いやいたずらに注意する。
取り外した電池や電池蓋は乳幼児の手の届かない所に保管する。万一飲み込んだ場合は医師に相談する。

注意

この内容を無視した取り扱いをすると、負傷や物的損害の恐れがあります。



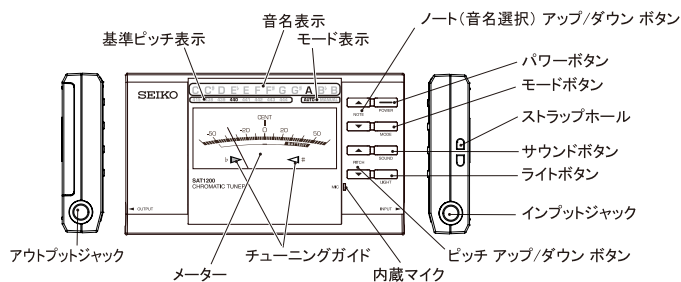
ボタンや本体に大きな力を加えない。
ストラップ使用の際は、ストラップを持って本機を振り回さない。
新旧の電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
充電式の電池は使用しない。
電池の漏液には直接触れない。
ほこりの多い所や振動の多い所で、使用や保管をしない。
お手入れにシンナー・アルコールを使用しない。



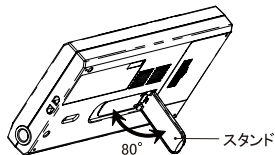
電池は2本を同時に交換し、(+) (-) を正しく装着する。
長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を外す。

付属の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。

各部の名称



製品裏面のスタンドは約80度の角度で固定されます。それ以上の角度まで無理な力で開こうとすると破損の原因となりますのでご注意ください。



チューニングの方法

パワーボタンで電源をONにすると、最初に2秒間電池残量をメーターでお知らせしてからチューニングができるようになります。ピッチ アップ/ダウン ボタンで基準ピッチを設定し、モードボタンでAUTOまたはMANUALを選択します。

<AUTOモード>鳴らした音に一番近い音名と、その音名に対して高いか低いかがメーターとチューニングガイドで表示されます。

<MANUALモード>ノート アップ/ダウン ボタンで設定した音名に対して高いか低いかがメーターとチューニングガイドで表示されます。

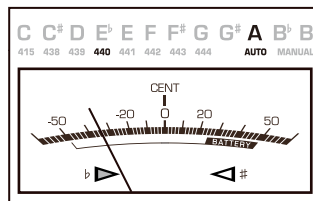
楽器を鳴らし、メーターの針が0の位置にくるように、楽器をチューニングします。±3セント以内になると、左右のチューニングガイドが共に点灯します。

※ 楽器に接続されたコードや別売ピックアップマイクをインプットジャックに接続し、チューニングすることもできます。
※ インプットジャックが接続されているときは内蔵マイクの使用はできません。
※ 周囲の音やハムノイズの影響で、チューニングをしていなくてもチューニング中のような表示となる場合があります。
※ 倍音成分の多い楽器や減衰の早い楽器は正しくチューニングできない場合があります。

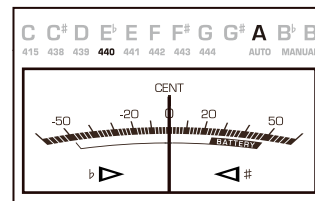
基準音を鳴らしてチューニングする場合

サウンドボタンで基準音の発音/消音切り替えができます。

ノート アップ/ダウン ボタンで音名を選択します。



AUTOモード、基準ピッチ440HzでAよりやや低い音を入力したときの表示例

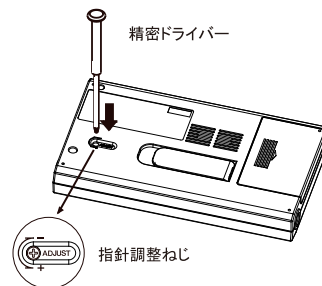


基準ピッチ440HzでA4の基準音を発音しているときの表示例

- バックライト機能
AUTOまたはMANUALモードでライトボタンを押すと、暗い場所でのチューニングに便利なバックライトモードになります。
● バックライトモードがオンのときは、楽器音の入力があるとメーターのバックライトがしばらく点灯します。
● 基準音発音時は省電力のためバックライトは点灯しません。
● ライトボタンを再度押すか、電源をオフにするとバックライトモードは解除されます。ライトボタンでバックライトモードを解除した場合は、バックライトが2回点滅してバックライトモードが解除されたことをお知らせします。
※ バックライトモードでは、電池の消費が早くなります。
- バイパス機能
インプットジャックに入力された信号をそのままアウトプットジャックから出力できます。バイパス機能使用時は、ノイズ防止のため本機の電源をOFFにしてください。

メーター針調整のしかた

温度変化、衝撃、経年変化等でメーター針の0セント位置がずれることがあります。チューニング中に針の位置にずれを感じたときはメーター針の0セント位置を調整してください。



電源をOFFの状態にし、ピッチアップボタンとピッチダウンボタンを同時に押しながらパワーボタンを押すと、指針調整モードになり、メーターが0セント位置を指します。針の指す位置が0セントからずれている場合は、先端の細いプラスドライバーを使って本体裏面の指針調整ねじを回し、針の位置を確認しながら0セント位置に合うよう調整します。調整が終わったらパワーボタンを押して一旦電源をOFFにします。

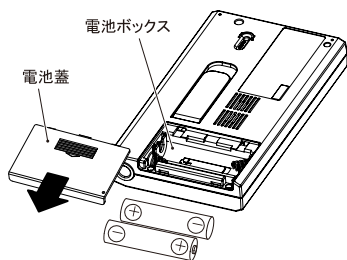
- ※ 指針調整ねじは、時計回りでマイナス方向に、反時計回りでプラス方向に針が動きます。
- ※ 指針を調整するときは必ず時計用等の精密ドライバーを使用し、力を入れすぎないようにゆっくり回してください。
- ※ サイズの合わないドライバーのご使用や無理なネジの押し込み等は故障の原因になります。
- ※ 本製品のメーターは大変デリケートです。落下などにご注意ください。

電池消費について

本製品は、電池消費を防いだり、電池交換時期をお知らせしたりするため、下記の機能を備えています。

- オートパワーオフ機能
電源ON状態で一定時間チューナーをご使用にならないと、自動的に電源がOFFになる機能です。
OFFになるまでの時間は、AUTOまたはMANUALモードでは10分、基準音発音では5分です。
- 電池残量表示機能
電源ON時に電池残量をメーターで2秒間お知らせする機能です。メーターの『BATTERY』ゾーンを針が示している間は、現在の電池でチューナーが使用できるという目安となります。
※ ご使用状況や電池の性能等により、『BATTERY』ゾーンを示していてもすぐに使用できなくなる場合があります。
- 電池交換時期お知らせ機能
電池の交換時期になると、『AUTO』と『MANUAL』のモード表示が15秒間交互に点滅して電池交換の時期をお知らせし、自動的に電源がOFFになります。この状態のままチューナーをお使いいただくことはできなくなりますので、電池を交換してください。

電池交換のしかた



電源をOFFにします。本機の裏側にある電池蓋を、矢印の向きにスライドさせて外し、消耗した電池を2本とも取り出します。電池ボックス内の極性表示と同じ向きで新しい2本の電池をセットして電池蓋を取り付けます。取り付けが完了したら、本機が正常に動作することを確認してください。電池交換をすると、設定はクリアされ、初期値(AUTOモード、基準ピッチ:440Hz、音名:A)に戻ります。

- ※ 充電式の電池はご使用になれませんのでご注意ください。
- ※ 電池を入れるときは(+)と(-)の向きに注意してください。
- ※ 使用済みの電池は地域の取り決めに従って廃棄してください。

製品仕様

- 調律モード : AUTO/MANUAL・基準音
- 調律範囲 : A0~C8
- 基準音発音範囲 : C4~B4
- 調律精度、基準音精度 : ± 1 セント
- 基準ピッチ範囲 : A4=415、438~444Hz
- オートパワーオフ : 10分(チューナー)、5分(基準音)
- インプット : 内蔵マイクロフォン、 $\Phi 6$ モノラルジャック
- アウトプット : $\Phi 6$ モノラルジャック
- 電源 : 単4形乾電池×2本(3V)
- 電池寿命 : 約60時間(A4音連続入力時)
- 外形寸法、重量 : 126(W)×73(H)×19(D)mm、約125g(電池含む)
- 付属品 : 単4形マンガン乾電池×2本(動作確認用)、取扱説明書

※仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがあります。